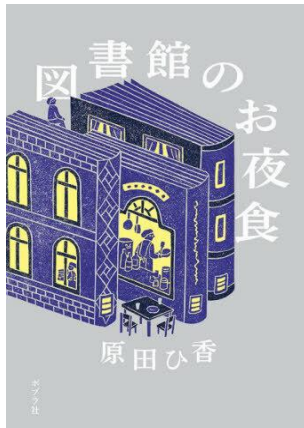


PICK UP!!

お 職員の推し本

図書館のお夜食

原田 ひ香 / ポプラ社



鬼籍に入った作家たちの蔵書を集め、午後7時から午前0時だけ開館している、不思議な『夜の図書館』で働くことになった乙葉。本好きの同僚たちにはそれぞれ秘密や謎もあって…？

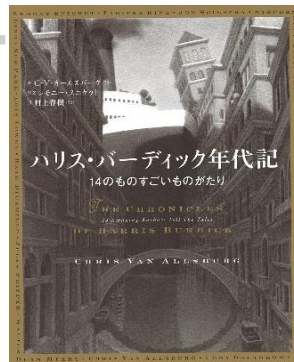
「実在の本に登場する料理がまかないとして出てくる夜だけ開館する図書館」だなんて、設定がすでにたまらなく魅力的。とはいえそれだけではないのが原田ひ香さんの作品である所以なのですが、人とかかわりや仕事についても考え直すきっかけになる1冊だとも思いました。謎こそ解明されるもののみまだ掘り下げてほしい部分もあるので、ぜひ続編希望です。

ハリス・バーディック年代記 14のものすごいものがたり

C・V・オールズバーグ ほか / 河出書房新社

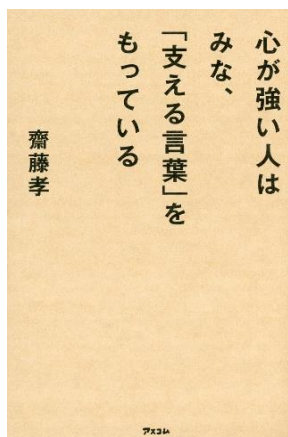
その昔、「ハリス・バーディックの謎」という本が出版されました。中は 謎めいた題名と説明文のついた14枚の絵。オールズバーグの魅力満載の、想像を掻き立てられる不思議な絵本でした。

それから25年、14枚の絵に14人の作家たちがそれぞれ物語を紡ぎました。ダークでファンタジックな緻密なモノクロ絵が、どんなお話を生み出したのでしょうか。まずは絵と説明文を、そしてお話を味わってください。それから再度絵を見返して、自分なりのお話を編んでみてはどうでしょう。何重にも楽しめる、珠玉の1冊です。



心が強い人はみな、「支える言葉」をもっている

齋藤 孝 / アスコム



くじけそうなとき、背中を押してほしいとき、成長したいと願ったとき、人付き合いに悩んだ時…自分を支える言葉を持っていると乗り越えていける気がします。NHK・Eテレ「にほんごであそぼ」の総合指導をし、児童向けの著作も多く手掛ける著者の文章は読みやすく、わかりやすいです。私の気に入った「支える言葉」は、バカボンのパパの決めぜりふ「これでいいのだ」。この言葉の持つ力・奥深さを知り、何でも肯定できそうな気がしました。本書掲載の30個の言葉の中から、ぜひ、ご自身の「支える言葉」をみつけてみてください♪